

DAWN通信 第3号

ドーンつうしん

財団法人大阪府男女共同参画推進財団は

「男女が対等な立場で、あらゆる分野に参加・参画できる社会づくり」の視点から多様な価値を受容し、一人ひとりが持てる力を最大限に発揮できる真に豊かな社会の実現に貢献します



人が出会い、反応し合う「場」としての女性芸術劇場

各地に男女共同参画のための拠点はあがるが、その活動の柱の中に、文化表現活動の育成・支援を掲げている所はほとんどない。1995年以来、女性の視点を活かした演劇、ダンス、ミュージカルなどの作品を招聘、製作し、「女性芸術劇場」の名称で鑑賞の場を設けてきたドーンセンターの活動は、実に貴重で先駆的である。

第1回女性芸術劇場に登場したのは「劇団青い鳥」だった。1980年代、女性だけの劇団として小劇場界に旋風を巻き起こした青い鳥の役者たちは、既成の演劇の女性像の中に演じたい役がなかったために、自分で作り始めたのだという。確かに、日本の演劇界に多様な女性像が登場し始めてからの歴史はまだ浅い。女性の観客は多いのに、女性の劇作家、演出家や、制作・舞台美術・音響・照明などのスタッフはまだ少ない。情報発信や評論の分野も同様だ。

女性の文化表現活動への支援とは、いわゆる「啓発作品」を見せることと同義ではない。むしろ、女性がその創造性を最大限に発揮して表現できる道筋を提示すること、作品を通して人が出会い、集い、反応し合う「場」を作ることに、大きな意義がある。

文化はお腹を満たしてはくれない。だが、生きる力になることは確実にある。人間が孤立した粒子としてバーチャルな空間にさらされている感がある昨今、手応えのある出会いの「場」から生まれる新しい世界のイメージにこそ、期待をかけたと思うのだ。

毎日新聞学芸部編集委員 畑 律江

目次

人が出会い、反応し合う「場」としての女性芸術劇場	1
特集： 経済的に困難な女性のためのプログラムを展開中	2
講座・イベントのご案内 (9月～12月)	3
ドーンセンター最新事情	4
主催事業報告	5
賛助会・寄附のご案内	6

※今年で第15回目をむかえる「女性芸術劇場」。P. 3をご覧ください。

“貧困”問題にジェンダーの視点を! 経済的に困難な状況にある女性のためのプログラムを展開中

離婚やDV被害、あるいはリストラにあったなどさまざまな理由で、社会的・経済的に困難な状況にある女性たちの現状はますます厳しくなっています。今年度、当財団では、マイクロソフト株式会社「女性のためのUPプログラム」の助成により、困難な状況にある女性たちが就職や再就職など、新たな可能性を切り拓くサポートとなる事業を展開しています。

就職・再就職をめざす女性のための 「パソコン講座」を開催しました 6/3~6/26

就職・再就職などにチャレンジする女性にとって、もはや筆記道具ともいえるパソコンスキルの獲得を欠かすことはできません。みなさんの応募動機にも「パソコンができればもっと求職活動に挑戦できると思います」「長いブランクをうめる自信をつけたい」など、はっきりとニーズをとらえることができました。2コースの定員30名に倍近くの応募がありました。無断欠席の方は皆無、毎回開始時間よりずっと早くに会場に来られる方が多いなど、みなさんの熱意に講師も担当者も身の引き締まる思いでした。



好きなニックネームの名札をつけて気分転換



熱心にパソコン操作をするみなさん

最終日には「毎回来るのが楽しみでした」「これから自分で勉強して資格を取ろうと思っています」「自己肯定感もUPしました。お別れが悲しいです」などの感想をいただきました。

講師・堀山可奈子さん(中央)、清水信子さん(左)と担当者



就労に向けたエンパワーメントのために 「就労応援フェア」を開催 9/12

「就労応援フェア」は、就労に向けたエンパワーメントのための楽しい催しです。パソコン講座受講のみなさんにとっては3カ月ぶりの再会となります。土曜日の午後をドーンセンターでゆったりと過ごし、たくさんのお会いと気づきと元気を持って帰っていただけるフェアを開催します。

“子どもの貧困”へのアプローチ

困難な時代に生きる力をつける

〈小・中学校教員編8/5〉〈高等学校教員編8/18・19〉

～学校教員のための研修プログラム・レポート～

学校の先生方に向けた研修プログラムは5年目です。今年は、「女性と貧困」をテーマに全3日間で実施。貧困の背景にあるグローバル化と社会構造を読み解く講義、教育や賃金、就労などの男女別データのギャップ、家族形態の変容などを確認。女性の置かれている厳しい現実が浮かび上がりました。“女性の貧困”は“子どもの貧困”と結びつき、中でも“女の子”はしんどい状況にある…。子どもたちが将来に夢と希望を持てるよう、ジェンダーの視点によるキャリア教育、人生の再チャレンジの可能性などの提示が提起されました。また女子生徒の玉の輿妄想をつぶし、一人ひとりの精神的・経済的自立の大切さを伝える実践報告も。短時間の中で深い議論ができ、明日から活用できるいくつかの方策が見え、講師・ファシリテーター・ご参加の先生方、会場全体がエンパワーした研修でした。



(財)地域創造助成事業、第7回「はなみずき基金」事業、むりやり堺筋線演劇祭参加

9～10月

第15回女性芸術劇場

「女性たちに捧げる現代演劇とダンス」



現代演劇「雑草ワルツ」

- 日時 2009年9月18日(金) 15:00、19:00
19日(土) 15:00、19:00
20日(日) 15:00

作 / 高橋恵(虚空旅団)、演出/岡部 尚子(空晴)
出演/青空まるこ、井尻智絵(水の会)、小池裕之(空晴)
佐久間京子、永倉聖子、中道裕子(らくーがき)
葉山聖、平本光司(空晴)、榎原由希子(虚空旅団)
や乃えいじ(PM/飛ぶ教室)

- 会場 / ドーンセンターパフォーマンススペース (1F)
- チケット / 前売 2,000 円、当日 2,500 円 (電話予約可能)
- 一時保育 / 1 歳～就学前 (要予約・公演 1 週間前締切り。保育料 1 人 1,500 円)

ダンス「カラダの記憶カラダのゆくえ」

- 日時 2009年10月2日(金) 19:00
3日(土) 15:00、19:00
4日(日) 15:00

- 関典子「刮眼(かつがん)人形」
振付・構成・演出・出演 / 関典子(舞踊家、神戸大学大学院人間発達環境学研究科講師)
- 千日前青空ダンス倶楽部「水の底/DC」
振付・構成・演出 / 紅玉
出演 / 稲吉、あやめ、小つる、ぼたん、他研修生
企画制作 / NPO 法人 DANCE BOX

賛助会費充当事業

9月～翌2月

2009フェミニストカウンセリング専門講座

女性の自立とエンパワメントのための心理的援助に必要な知識と技術を提供する専門講座を開催します。

【理論コース】

フェミニストカウンセリングの中でも重要なテーマを取り上げ、女性のおかれている状況やそこからくる心理的問題を考えるとともに、DV・性暴力・虐待サバイバーへのサポートのあり方を学びます。

- 日程 : 2009年10月10日(土)～11月28日(土) 全10回
- 受講料 : 20,000円 (賛助会員価格 18,000円)

【研究コース】

理論コースを修了した方を対象に、実際のケースに沿いながら、フェミニストカウンセリングでのとらえ方、アプローチの仕方などについてスーパーバイザーとともに検討、援助職としての資質と専門性向上をめざします。

- 日程 : 2010年1月16日、30日、2月13日 土曜日・全6回
- 受講料 : 18,000円 (賛助会員価格 16,000円)

ACCJ関西支部助成、はなみずき基金事業

8～10月

はなみずきキャリア塾 開催中!

〈B 私の能力を磨く〉

- ・8/22 第1部: 専門力を高める
第2部: アートを楽しむ2
- ・9/26 第1部: 情報を収集し、活用する力を養う
第2部: ワーク・ライフ・バランス
- ・10/24 第1部: ネットワークを築く
第2部: 旅を楽しむ

- 定員 : 各日女性 50 名
- 参加費 : 各日 2,500 円



第9回「はなみずき基金」事業

11月

第33回 ドーン・シネマクラブ 「山形国際ドキュメンタリー映画祭2009」 女性監督作品を上映

- 日時 : 2009年11月12日(木)～15日(日)【予定】
- 会場 : ドーンセンター
視聴覚スタジオ (5F)



不妊専門相談センター事業 10～11月

サポート・グループへのお誘い

“不妊”のこと、話し合ってみませんか

ゴールの見えない不安、いつ治療をやめるかという迷い、社会的な偏見や圧力、家族やパートナーとの関係…。同じ立場の人どうし、自分の気持ちを語り合い、経験や痛みをわかち合える場です。

無料

- 日程：2009年10月8日～11月26日
10:00～12:00 毎週木曜日・全8回
- 会場：ドーンセンター和室（4F）
- ファシリテーター：内田和枝（助産師）
- 対象：テーマが自分の問題と感じる女性で、原則全回参加できる方・先着10名
- 申込み：下記あてお電話ください
TEL 06-6910-8588

不妊専門相談センター事業 11～12月

不妊治療基礎セミナー

不妊治療のいま・これから

「10組に1組のカップルが不妊」といわれる日本。「不妊」は決して珍しい問題ではありません。不妊治療を始める前に知っておきたい知識を提供するとともに、不妊をめぐる課題について考えるセミナーです。パートナーとのご参加もどうぞ。

無料

- プログラム：
11/8(日)「不妊治療における自己決定」
11/22(日)「不妊治療をめぐる現状と課題」
12/6(日)「“不妊”における
リプロダクティブ・ヘルス/ライツ」

不妊専門相談センター事業 11/7(土)

女性のための からだの声に耳を傾けてみませんか

リラクゼーション・ボディワーク

からだをゆっくりほぐすことで、心身のバランスを整えるボディワーク。からだを意識し、こころとからだをつなぐことで、自分と向き合うきっかけをつくります。

無料

- 日程：2009年11月7日（土）13:30～16:30
- 会場：ドーンセンター多目的ルーム（地下1F）
- 講師：甲木京子
（佐賀県立男女共同参画センター事業コーディネーター）
- 対象：女性・先着25名
- 申込み：下記あてお電話ください
TEL 06-6910-8588

不妊専門相談センター事業

「不妊にまつわる電話相談」を行なっています

☎ 06-6910-8655 毎週水曜日 10:00～16:00

不妊専門相談センター事業 12/2(水)

カナダにおける性教育の第一人者

メグ・ヒックリングさん講演会

「性の健康教育を次世代に」

看護師としての医学的知識を基に、子ども向けのユーモアあふれる性教育ワークショップを生み出したメグさんの講演会。性に対する古い価値観を払いのけ、性教育の大切さを広く普及したことが高く評価されています。

無料

- 日程：2009年12月2日（水）14:00～16:00
- 会場：ドーンセンター大会議室2（5F）
- 対象：子どもに関わる専門家・テーマに関心のある方

共催事業 10/9(金)


住まいとライフスタイル

住まい×ライフスタイル＝わたし流

ライフスタイルが多様化する中、自分流に生きていくためには、どんな住まいが理想なのでしょう。生き方と住まいの関わりについて、一緒に考えてみませんか。

無料

- 日時：2009年10月9日（金）13:30～16:00
- 会場：ドーンセンター パフォーマンススペース（1F）
- 内容：セミナー「ライフスタイルと住まい」
トークセッション「わたし+住まい+α=わたし流」 他
- 主催：(社)大阪府宅地建物取引業協会 女性部会／(財)大阪府男女共同参画推進財団



10月から、ドーンセンターが こう変わる

● 「大阪府女性相談センター」が ドーンセンター内に移転します

大阪府の女性相談体制の充実の一環として、又府有施設の有効活用の観点から、ドーンセンター（大阪府立男女共同参画・青少年センター）内に「大阪府女性相談センター」（大阪府福祉部所管）が移転します。

現在のサポート・カウンセリングルーム（3F）スペースにおいて、10月から事業をスタートします。

● 大阪府女性相談センターとは

「売春防止法」「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」及び人身取引対策行動計画に基づき支援を必要とする女性（男性DV被害者含む）の相談に応じている大阪府の出先機関です。2002年に「DV防止法」が全面施行され、配偶者暴力相談支援センター（DVセンター）の機能を担っています。

なお、府内6ヶ所の子ども家庭センターにもDVセンター機能が設置されており、女性相談センターは中核施設として位置付けられています。

● サポート・カウンセリングルームで実施していた ドーンセンターの相談事業はどうなるの？

相談スペースは3階執務室内等に移転し、継続していきます。サポート・カウンセリングルームの相談は「女性の自立とエンパワメント」のための心理的援助です。その人が本来持っている力を引き出し、自ら問題解決できるようなサポートを提供します。また、相談事業は、女性の抱える問題を直ちに把握することができ、相談者のニーズを的確にとらえ、ドーンセンターで実施している各種事業に反映させることができ、その役割は重要であると考えています。

● エンパワメントのための 総合的な機能の構築をめざして

サポート・カウンセリングルームに寄せられる相談はさまざまです。「どうしようもなく不安で生き辛い」といった訴えの背景にも、丁寧にカウンセリングを行なう中で、子どもの頃の両親間のDVや虐待といった問題が浮かび上がってくることは少なくありません。

そのため、女性相談センター等が担っている被害者の適切な避難や措置、自立支援などの福祉的施策に加え、心理的ケアやエンパワメントの支援が重要であると認識しています。

今後も、引続き、さまざまな課題を見据えながら、長期的な視点で取り組んでまいります。

ピックアップ 主催事業報告

米国国務省主催
「インターナショナル・ビジター・リーダーシップ・プログラム」

アメリカ研修報告会

報告者：仁科あゆ美（当財団 事業チーフ）

前号の『DAWN通信』でもご案内しました標記報告会を開催しました。平日の昼間にも関わらず女性関連施設・行政関係者、NPO代表、研究者、賛助会員の方々をご参加くださいました。

女性のリーダーシップによるNGO活動の数々、10代の女子が生きる力をつける各種プログラムについては、その取り組みの詳細を報告。

「格差社会のアメリカでも、根底にある不平等に取り組む力強いNGOがあることに勇気付けられた」「ぜひいろいろな機会に報告してほしい」などの感想が寄せられました。

（7月9日実施）



女性関係相談事業担当者研修講座④

「ネットワークの実際～応用課題に取り組む～」

ファシリテーター：川喜田好恵（当財団 カウンセラー）

相談担当者のための研修講座最終回。DV相談を受けた際、現場でどう対応できるかを考えながら、次につながるべき関係機関を見極める力をつける応用ワークショップ企画しました。

DV被害者支援に関わる主要機関・専門家（府女性相談センター、府警本部、とよなか男女共同参画推進センター、フェミニストカウンセリング堺、弁護士）の方々をコメンテーターとして一同に会しました。

「色々な立場からの意見が聞けて大変参考になった」「具体的な支援とネットワークがわかった」などの感想をいただきました。

DV防止法施行以前から草の根で被害者支援を行ってきた方の「ほんの10年前は何処へ逃がすか本当に苦労したが、隔世の感がある」との言葉がとても印象的でした。（7月30日実施）



事業運営に参画ください

大阪府の厳しい財政状況のもと、男女共同参画社会をめざす取り組みは、大きな変革を求められています。が、このような中でこそ、「性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮できる社会」の実現は、ますます重要になるものと確信しています。

今後も開かれた事業運営をめざしてまいりますので、資金・知恵・労力・ネットワークなど、お力をお貸しください。

『誰もがその人らしく 男女共同参画』(岩波ブックレット No.593)

対等なパートナーシップは21世紀社会を創造するキーワード

「官尊民卑」から「官民の対等なパートナーシップ」へ。中央集権という「国尊地卑」から「国と地方の対等なパートナーシップ」へ。そしてもうひとつ重要なのは「男尊女卑」から「男性と女性の対等なパートナーシップ」へ。

地方分権一括法の前年、1999年に「男女共同参画社会基本法」が施行されました。別々な経緯で違う省庁が管轄してつくられた法律が、ほぼ同時に成立・施行されたことは二十一世紀直前という「対等なパートナーシップ」を求める時代の必然です。

岩波ブックレット No.593
誰もがその人らしく 男女共同参画



～「地方分権は男女共同参画から」(P.9)より～

(財)大阪府男女共同参画推進財団の賛助会員になりませんか!

財団の活動主旨に賛同し、共に歩んでいただける方の入会をお待ちしております。会員になるとニュースレターが届くほか、主催講座・イベントの一部に賛助会員価格でご参加いただけます。

【年会費】(4月から翌年3月までの年度制となります)

- ・個人 一口 3千円
- ・団体 企業等 一口 1万円
- 非営利団体 一口 5千円

【振込先】

郵便振替口座 00900-9-155214
口座名 財団法人大阪府男女共同参画推進財団

☆通信欄に『賛助会員 年会費(口数)』と、お名前、ご住所、電話番号、メールアドレスをご記入ください。

寄附を受付けています

現在受付けているのは用途を財団にご一任いただくもので、事業の運営に有効活用させていただきます。

ご寄附は賛助会費とはちがい期限などがありません。どなたでも500円から受付けています。

【賛助会・寄附に関する問い合わせ先】

総務グループ TEL : 06-6910-8625

入会・継続ありがとうございます! 2009年度 賛助会員のみなさま

5/15～8/20 ご入会のみなさま(敬称略・入会順)

■個人

中村 彰/波田 埜 雅子/小松 満貴子/志水 紀代子
伊田 久美子/夏原 晃子/萬田 久美子/二子石 知恵
他4名

■団体

エンパワメントいばらき
女性グループ翼(ウィング)
働く女性の人権センター いこる
おんなの目で大阪の街を創る会 他2団体

■企業

株式会社学校事務機センター
株式会社ゼロワン 他1社

■寄付者

波田 埜 雅子/志水 紀代子/他3名

* ご了承いただいた方のみ掲載しています

不妊専門相談センターHPを開設しました!

<http://www.ogef.jp/funin-osaka/>

当財団は2009年7月より、大阪府の不妊専門相談センター機能を担っています。

このたび、専用ホームページを制作しました。各種事業の詳細がご覧いただけます。



お便り募集! 「DAWN通信」へのご意見・ご感想などお寄せください。 info@ogef.jp